

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<5週> 風疹 - 第1週から微増を続ける傾向にある / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<インフルエンザ> 定点当たり報告数は35.0と減少し、九州、関西地区などを中心に全国32の都道府県で前週に比べて報告数が減少した



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザウイルス / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス



速報
P.6

小学校におけるインフルエンザウイルスA香港型とB型の混合流行 - 山形県



海外感染症情報
P.7-8

ギニアで黄熱流行 / ブルキナファソで髄膜炎菌感染症の流行 / コンゴ共和国で出血熱症候群発生の疑い / ブラジルでの黄熱



感染症の話
P.9-11

セレウス菌感染症
食中毒の形をとり、嘔吐型と下痢型があるが、わが国においてはそのほとんどが嘔吐型である



読者のコーナー
P.12



グラフ総覧(5週)
P.13-19



5週のデータ
P.20-28



発生動向総覧

第5週コメント 2月6日集計分

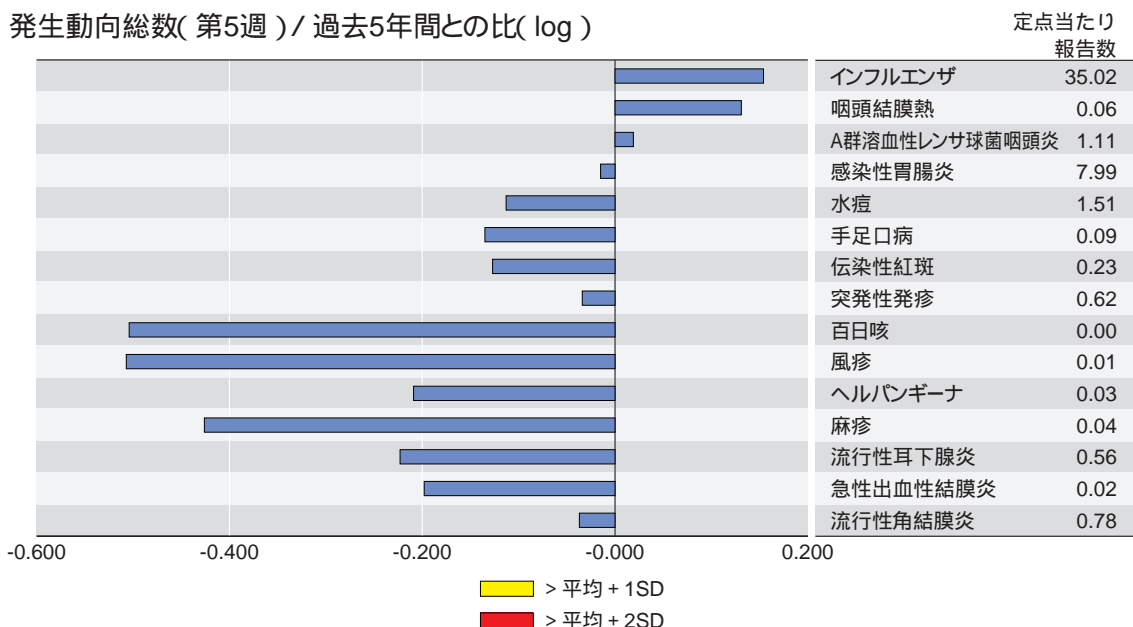
全数報告の感染症

- 1類感染症：報告なし
- 2類感染症：細菌性赤痢4例(推定感染地：国内2例、インドネシア2例)、腸チフス3例(推定感染地：国内1例、インド、バングラデシュ各1例)
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症7例(うち有症者5例)
- 4類感染症：アメーバ赤痢8例(推定感染地：国内4例、インドネシア、台湾、中国各1例、不明1例)
 - 劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例(1歳、66歳)、破傷風1例(69歳)
 - バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(84歳、便培養)、レジオネラ症2例
 - 急性ウイルス性肝炎12例
 - A型10例(推定感染地：すべて国内)
 - B型2例(推定感染地：ともに国内、感染経路：ともに異性間性的接触)
 - クロイツフェルト・ヤコブ病2例(ともに孤発性)
 - 後天性免疫不全症候群13例(無症候11例、AIDS 2例)
 - 感染経路：性的接触13例(同性間8例、異性間5例)
 - 梅毒6例(早期顕症2例、無症候性4例)
 - マラリア1例(熱帯熱マラリア1例)推定感染地：パプアニューギニア)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比べて特別に多い疾患はなかったが、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、都道府県別では富山県(2.9)と福井県(2.9)からの報告が多い。風疹は第1週から微増を続ける傾向にあり、特に岡山県(0.3)からの報告は前週の7倍みられた。急性脳炎(日本脳炎を除く)は沖縄県からの定点当たり報告数が0.6であり、1999年4月からの週当たり報告数でみると3番目に多い。細菌性髄膜炎の定点当たり報告数も増加し、0.02となった。感染性胃腸炎と咽頭結膜熱の定点当たり報告数は大きな変化はないが、前者は福岡県(15.1)と宮崎県(14.9)をはじめ12都道府県から10.0以上の報告があり、後者は秋田県(0.6)からの報告が多い。インフルエンザは今年初めて、前週に比較して定点当たり報告数が減少(38.7から35.0)した。依然としてすべての都道府県で定点当たり報告数は2桁であるが、西日本を中心に7割の都道府県で前週に比して減少し、50を超えた都道府県は沖縄県(62.2)を始め5都道府県へ半減した。水痘の定点当たり報告数は減少したが、沖縄県(4.8)と佐賀県(3.1)からの報告数が多い。

発生動向総数(第5週)/過去5年間との比(log)

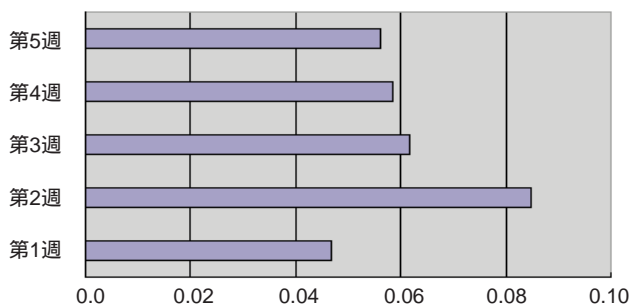


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

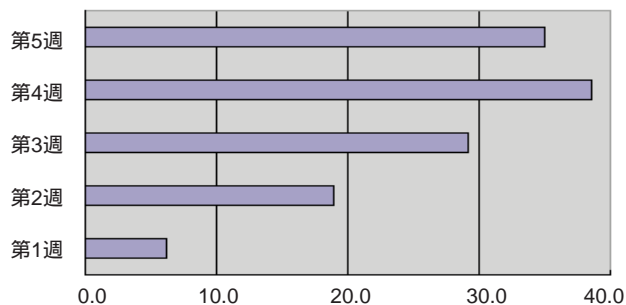
最近の注目疾患－5週間の動き

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は前週に比べて増加した。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は前週に比べて殆んど不変である。咽頭結膜熱、インフルエンザ、水痘、伝染性紅斑の定点当たり報告数は前週に比べて減少した。

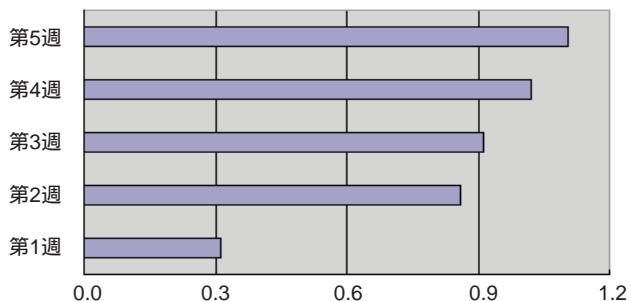
咽頭結膜熱



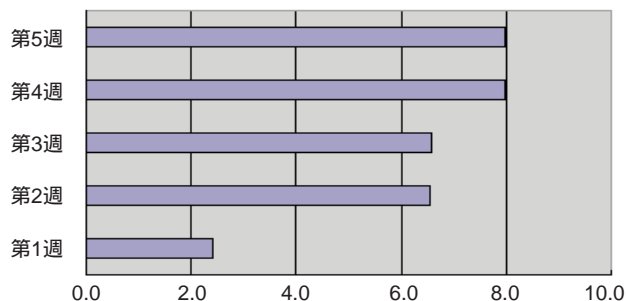
インフルエンザ



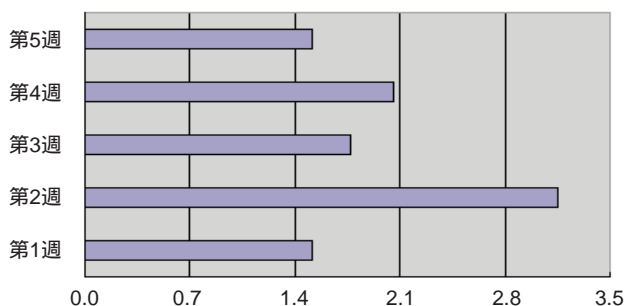
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



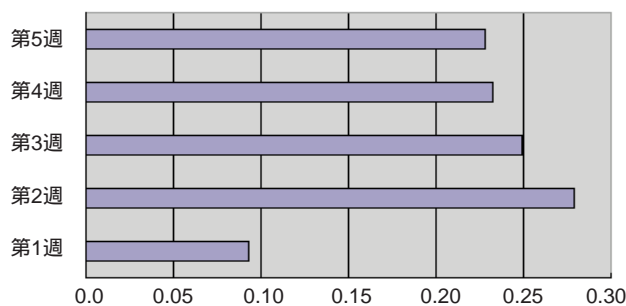
感染性胃腸炎



水痘



伝染性紅斑



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

インフルエンザ

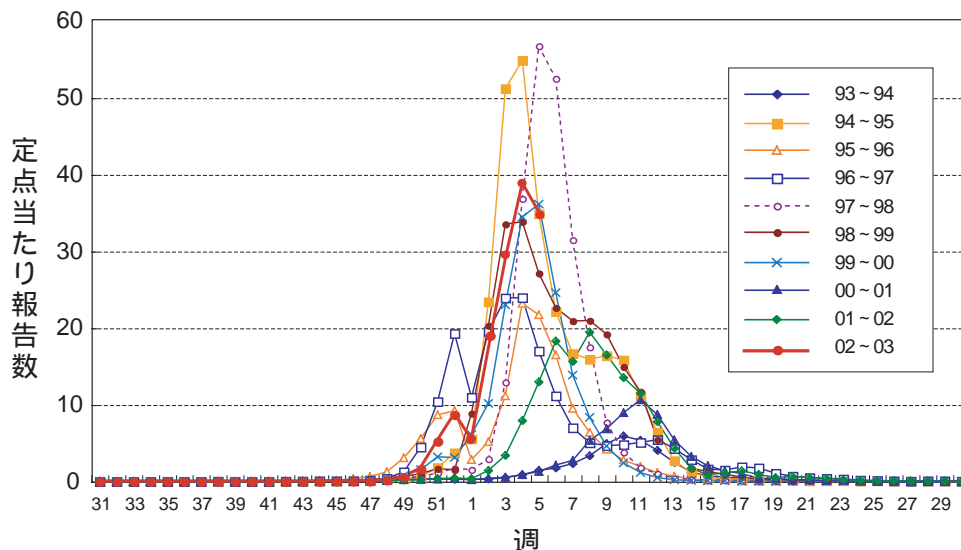
全国レベルでのインフルエンザの定点当たり報告数は、2003年に入ってから6.3(第1週)、19.1(第2週)、29.4(第3週)、38.7(第4週)と増加していたが、第5週では35.0と減少した。九州、関西地区などを中心に大幅に減少し、全国32の都道府県で前週に比べて報告数が減少した。しかし、東北、北海道地区では依然として前週に比べて増加しており、注意を要する。

病原体ではA香港型(H3N2)が分離されたウイルスの大半を占めているが、B型も分離報告がある。Aソ連型(H1N1)については、今シーズンの分離報告は未だない。

インフルエンザの総合的な情報については、以下のURLを参照されたい。

<http://idsc.nih.gov.jp/others/topics/newpage2.html>

図. 過去10年間のインフルエンザシーズン毎のトレンドグラフ



インフルエンザ警報・注意報

第5週では全国で174の保健所で注意報、395の保健所で警報の基準値を超えており、関東以東では警報基準値を超える保健所が増加した都道府県が多いが、以西では横這いのところが多い。感染症発生動向調査では、同週1週間の全国レベルでの定点当たり報告数が35.0となり、今シーズンの流行開始以来はじめての減少となった(第4週は38.7)。

警報・注意報の地図情報については、以下のURLを参照されたい。

<http://idsc.nih.gov.jp/others/topics/inf-keiho/trend02.html>



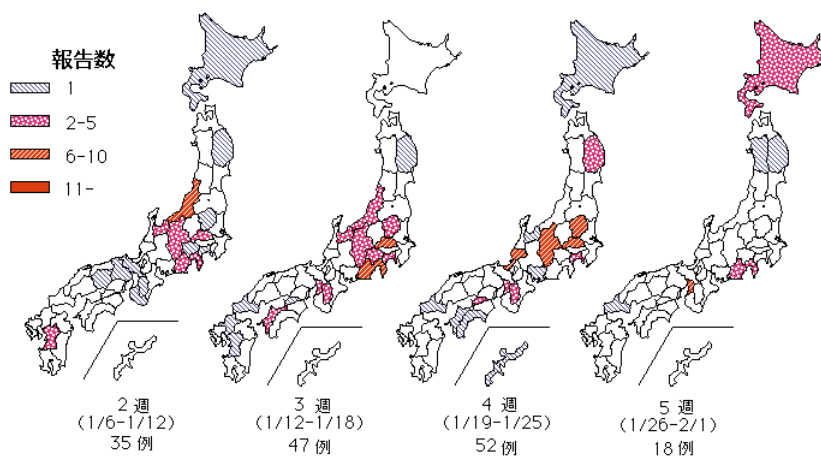
病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2003年2月7日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2002/2003シーズン

AH3型ウイルスは、青森県、茨城県、群馬県、岐阜県、鹿児島県を除く42都道府県の55地方衛生研究所(地研)から2,003件(PCRのみの検出15件を含む)報告されている。このうちN型別された144件はすべてN2であった。第1～5週までの報告数は順に85、462、328、173、50であるが、まだ今後の報告追加により大きく増加することが見込まれる。B型ウイルスは、これまでに33道府県の38地研から243件報告されている。第2週以降、報告地域が拡大して報告数も増加している。AH1型ウイルスの報告はまだない。

都道府県別インフルエンザウイルスB型分離・検出報告状況、2002/2003シーズン
(病原微生物検出情報：2003年2月7日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離検出報告を図に示した。

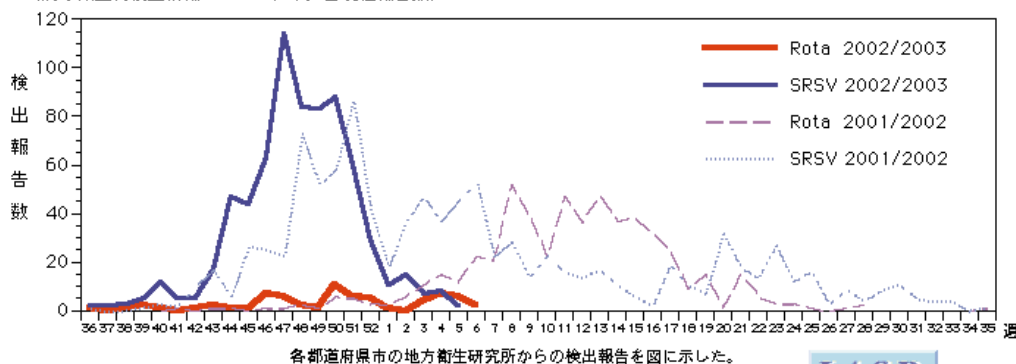


冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2002/2003シーズン

小型球形ウイルス(SRSV)は第43週以降増加し、第50週までの報告数は昨シーズン同時期を大きく上回っている。SRSVは計706件で、全体の約7割は0～4歳の乳幼児からの検出である。内訳はノーウォーク様ウイルス(NLV) genogroup IIが487件(愛媛県90、岩手県60、滋賀県34など)と大部分を占め、その他NLV genogroup Iが7件(愛媛県3、愛知県2、石川県1、滋賀県1)、NLV genogroup不明が187件(山形県142など)、サッポロ様ウイルス(SLV)が2件(大阪市2)、電顕による検出が23件(高知県13など)報告されている。ロタウイルスは、これまでA群が62件(岩手県8、東京都8など)、C群が2件(岩手県2)、群不明(電顕による検出)が6件(愛媛県6)報告されている。

週別SRSV&ロタウイルス検出報告数の推移、2002/2003シーズン

(病原微生物検出情報：2003年2月7日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。





小学校におけるインフルエンザウイルスA香港型とB型の混合流行 - 山形県

山形県では2002/2003インフルエンザシーズンにおいて、2002年の第51週にA香港型、52週にB型(ビクトリア系統)をはじめ分離している。以降、A香港型とB型の混合流行が続いているが、今回1つの小学校で両者が混合流行した事例を経験したので報告する。

A小学校(在籍者670名)では、3学期が始まった第2週に2名のインフルエンザ患者が発生していた。第3週になると患者は急増し、14日には1年生、2年生、5年生で75名の欠席者・罹患者となった。1・2年で学年閉鎖、5年で学級閉鎖を実施したが、14日から24日までの罹患患者数は合計234名にのぼった。

山形県衛生研究所では1月15～18日に発症した児童13名について、咽頭拭い液からのウイルス分離を行った。その結果、A香港型4株、Bビクトリア型9株が分離された。A型は1%モルモット赤血球、B型は0.5%ニワトリ赤血球を用いてHI試験による同定を行った。A香港型分離株は、A/Panama/2007/99(H3N2)血清でHI価320(ホモ価640)、B型分離株は、B/Kagoshima/11/2002血清に対してHI価1280～5120(ホモ価2560)、B/Hiroshima/23/2001血清に対してHI価40～80(ホモ価1280)を示した。HI試験の型別は、病院で行われたキットの結果とすべて一致した。

1月14日から22日までに行われたキットの結果を見ると、17名がA型として、34名がB型と診断されていた。これを学年別に見ると、1～4年生ではA型が7名に対してB型が34名、5～6年生では10名すべてA型であることがわかった。こうしたことから、1～4年生まではB型が、5～6年生ではA香港型が主体となって流行していたものと考えられる。また、1～4年までの3つのクラスでは同時期にA型とB型が混合して流行していた。

インフルエンザはしばしば大流行をおこし、学校における学級閉鎖の原因となる。しかし、その多くは単一のサブタイプの流行によるものである。今回、我々は1つの学校でA香港型とB型(ビクトリア系統)が混合流行した事例を経験した。今回の事例は今シーズンの流行の特徴 すなわち、A香港型とB型の勢力が拮抗しながらコミュニティで流行している現状 を象徴しているケースであると考えられた。

山形県衛生研究所

水田克巳 安孫子千恵子 村田敏夫 村山尚子 早坂晃一

上山小児クリニック

高橋良和

村山保健所



海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

ギニアで黄熱流行

WHO/CSR 2003年2月3日

ギニア公衆衛生省は1月23日現在、Macenta県とKerouane県で黄熱患者43名と死亡者24名が発生したと報告した。確定診断は、セネガルのダカールとフランスのリヨンにあるパスツール研究所で行われた。

Macenta県やその周辺の県の人口約60万人に対し、集団予防接種キャンペーンが開始された。WHOと、その協力機関である国境なき医師団(MSF)ベルギー支部、フランス支部、スイス支部では、対策費、技術支援、ワクチンと接種器具の提供を行い、同国公衆衛生省を支援している。

ブルキナファソで髄膜炎菌感染症の流行

WHO/CSR 2003年2月4日

ブルキナファソ保健省は、同国内で2003年1月1～26日の間に髄膜炎菌感染症患者980名と死亡者196名(致命率20%)を報告した。2003年1月26日現在、Batie, Kossodo, Manga, Tenkodogoの4地域では流行閾値には達していないが、警戒態勢を取っている。

国立公衆衛生研究所は、3地域(Nanoro, Paul VI, Pissy)で採取された28検体のうち10検体がW135群髄膜炎菌、8検体が肺炎球菌、4検体がインフルエンザb菌であると確認した。

保健省は流行を征圧するために、地域単位での検査器材やクロラムフェニコールの備蓄、疫学サーベイランスの強化、保健職員の訓練、住民教育などの対策を実施している。

WHO/CSR 2月7日更新

保健省は1月26日～2月2日の週に、髄膜炎菌感染症患者369名と死亡者58名を報告した。ブルキナファソの53地域中、Batie, Leo, Sapone, Mangaの4地域で流行閾値に達し、Dande, Nanoro, Reo, Titao, Zabre, Zorghoの7地域は警戒態勢にある。

同国保健省により設置された危機管理委員会が、流行征圧手段を実施している。WHOは、パートナーである流行性髄膜炎征圧のためのワクチン供給国際協力団体とともに、最近利用可能になった3価ワクチンの提供を行っている。このワクチンは髄膜炎菌A群, C群, W135群に予防効果があり、髄膜炎ベルトの国々の要請に応じ使用される予定である。

コンゴ共和国で出血熱症候群発生疑い

WHO/CSR 2003年2月7日

コンゴ保健省、ガボンのフランスビルにある国際医学研究センター(CIRMF) WHOからなる調査チームが、同国での急性出血熱症候群疑い患者発生の噂を調査するため、Cuvette Ouest地方のMbomo地域へ向かっている。検査検体を採取し、ガボンのCIRMFで検査を行う予定である。

2002年12月に同地域で、ゴリラやチンパンジーの死亡が確認された。CIRMFで検査が行われ、病因がエボラウイルスであると確認された。

ブラジルでの黄熱

Health Canada 2003年2月5日

http://www.hc-sc.gc.ca/pphb-dgspst/tmp-pmv/2003/yf_brazil_e.html

2003年1月29日現在ブラジル保健省とWHOは、Minas Gerais州西部での森林型黄熱により、累計で12名の死亡者を含む66名の黄熱患者を報告した。検査により黄熱が確定した27例全例は、San Lucasの限局した僻地、Diamantina村、Jequitinhonha溪谷のSerro市、Alvorada市、Sabinopolis市、Guanhaes市で発生した。

ブラジル保健省は、以下の州/地域で黄熱が流行していると考えている。

北部州(Acre, Amapa, Amazonas, Para, Rondonia, Roraima, Tocantins) 中西部州(Distrito Federal, Goias, Mato Grosso, Mato Grosso do Sul) Maranhao北東部地域

また、以下の州では黄熱の危険があると考えている。

Piaui南東部、Bahia西部、Minas Gerais, Sao Paulo, Parana, Santa Catarina, Rio Grande do Sul北西部



感染症の話

セレウス菌感染症

本感染症は、感染症法における4類感染症定点把握疾患の感染性胃腸炎の中に含まれる。セレウス菌感染症は殆ど食中毒の形をとり、嘔吐型と下痢型がある。わが国においては1960年代以降、セレウス菌食中毒が報告されており、そのほとんどが嘔吐型である。厚生省は1982年3月に食中毒の原因菌として本菌を新たに追加指定し、1983年の食中毒統計から病因物質として記載されるようになった。

疫学

自然界に広く分布するセレウス菌による食中毒は古くから知られており、1950年代に、特にヨーロッパ諸国において、「芽胞を形成する桿菌」による下痢を主症状とした下痢型セレウス菌食中毒の発生が報告されている。1970年代にイギリスで炒飯の喫食による嘔吐を主症状とした嘔吐型セレウス菌食中毒が報告され、その後欧米各国で同様の事例が報告された。

わが国におけるセレウス菌食中毒は嘔吐型がほとんどであるが、その発生数や患者数はそれほど多いものではない。1983年から1999年までの17年間に発生した食中毒総数19,937事例のうち、セレウス菌食中毒は201事例、患者数7,697名で、いずれも1%程度を占めるにすぎない(表1)。また、その発生規模も1事例当たりの患者数が10名前後の小規模発生がほとんどであるが、時に患者数100名を超える大規模な事例もみられる。表2に大規模食中毒事例を示したが、学校や事業所での事例が多く、患者数1,800名を超える事例までみられている。時期的には、他の細菌性食中毒と同様、夏期に多く発生している。

表3には原因食品別発生状況を示したが、穀類と複合調理食品によるものが大部分を占め、具体的には米飯、スパゲティが嘔吐型食中毒の原因食品となっている。一方下痢型の原因食品としては、食肉製品や野菜、そしてこれらを材料としたスープなどがあげられている。

表1. 日本における細菌性食中毒の発生状況(1983年～1999年)

	事件数(%)	患者数(%)
食中毒事件総数	19,937	615,618
細菌性食中毒合計	15,693 (78.7)	505,617 (82.1)
腸炎ピブリオ	6,056 (30.4)	136,901 (22.2)
サルモネラ	4,086 (20.5)	145,540 (23.6)
黄色ブドウ球菌	1,870 (9.4)	44,359 (7.2)
カンピロバクター	1,766 (8.9)	50,061 (8.1)
病原大腸菌	1,225 (6.1)	76,933 (12.5)
ウエルシュ菌	329 (1.7)	39,296 (6.4)
セレウス菌	201 (1.0)	7,697 (1.3)
ボツリヌス菌	26 (0.1)	100
ナグピブリオ	22 (0.1)	298
その他の細菌	112 (0.6)	4,432 (0.7)

表2. セレウス菌食中毒の大規模事例（1983年～1999年：100名以上）

発生年月	患者数	原因食品	喫食場所
1984年 7月	142	給食弁当	社員食堂
1985年 10月	110	ゆでめん	学校
1986年 9月	210	おにぎり	学校
1987年 9月	318	米飯（幕の内弁当）	飲食店
1989年 7月	191	不明	旅館
1990年 1月	350	仕出し弁当	会社など
1990年 8月	291	牛乳	家庭・保育所など
1991年 8月	359	給食弁当	社員食堂など
1991年 9月	1,877	学校給食	学校
1992年 4月	541	弁当	学校など
1995年 10月	296	仕出し弁当	患者自宅など
1996年 5月	254	スパゲティ	学校食堂
1998年 10月	516	米飯（弁当）	飲食店

表3. 原因食品別セレウス菌食中毒の発生状況（1983年～1999年）

原因食品	事件数（%）	患者数（%）
穀類およびその加工品	88（43.8）	1,798（23.4）
複合調理食品	70（34.8）	3,483（45.3）
野菜およびその加工品	5（2.5）	158（2.1）
魚介類	3（1.5）	66（0.9）
乳類およびその加工品	1（0.5）	291（3.8）
肉類およびその加工品	1（0.5）	2
菓子類	1（0.5）	2
不明	10（5.0）	335（4.4）
その他	22（10.9）	1,562（20.3）
合計	201	7,697

病原体（図1）

Bacillus 属には30種以上の菌種が知られており、中でも*B. anthracis* は炭疽の病原菌として良く知られた病原菌である。セレウス菌(*B. cereus*)は100 30分の加熱にも耐える芽胞の形で土壌などを中心に自然環境に広く分布し、野菜や穀物などの農産物を汚染している。

また、セレウス菌は溶血毒をはじめ、いくつかの毒素を産生することが知られているが、食中毒に関係するのは嘔吐毒と下痢毒である。嘔吐毒本体はCereulideと呼ばれる環状ペプチドで、消化酵素や熱、酸・アルカリにも安定であるため、食品中で産生された毒素で中毒が発現する。一方、下痢毒本体はタンパク質であり、ペプシンやトリプシンなどの酵素や、60 以上の加熱、pH4以下の酸性条件などによって失活することが知られている。したがって、原因食品中に産生された毒素は胃酸や消化酵素により不活化されるので、下痢は起こさないと考えられる。

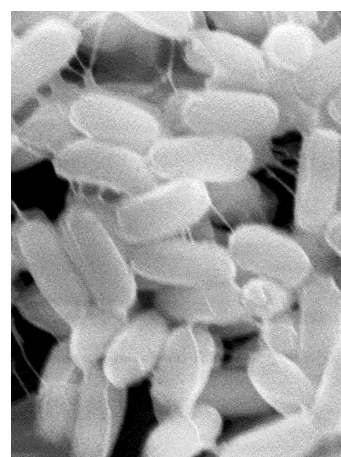


図1. セレウス菌の電子顕微鏡像

臨床症状

セレウス菌食中毒の症状は嘔吐型と下痢型で異なる。嘔吐型は食品内で産生された毒素によって発症する毒素型食中毒で、潜伏時間は30分～5時間で嘔吐が主である。実際に1987年に東京で発生した事例における患者318名の症状発現状況を見ると、主な症状は嘔吐、吐き気、下痢、腹痛であり、いずれも軽症であった(表4)。一方、下痢型は原因食品内で増えた菌が喫食され、腸管内での増殖とともに産生された毒素によって起こる感染型(生体内毒素型)であり、潜伏時間は6～15時間と長く、下痢が主症状である。

表4. 1987年東京都内で発生したセレウス菌食中毒における患者の臨床症状(患者数: 318名)

臨床症状	発症者数(%)
嘔吐	147 (46.2)
吐き気	125 (39.3)
下痢	95 (29.9)
腹痛	90 (28.3)
発熱	17 (5.3)
頭痛	15 (4.7)
悪寒	4 (1.3)
倦怠感	4 (1.3)
膨満感	3 (0.9)

病原診断

セレウス菌食中毒は、臨床症状、潜伏時間、および関係検体からの原因菌検出頻度などによって診断されているのが現状である。自然環境からよく検出される本菌と食中毒の原因となる本菌との区別については、後者がでんぷん分解性陰性であることから、でんぷん分解能検査が役立つと思われる。セレウス菌の鞭毛抗原によるH血清型別は特異性が高く、セレウス菌の血清型別に応用されるが、市販の試薬はない。原因食品や患者試料などから検出された菌株間における同一血清型菌の検出頻度は、食中毒診断にとって重要な判定資料となる。一方、病原本体である毒素の検出では、下痢毒についてはラテックス凝集反応による検出キットが市販されているが、嘔吐毒の簡易な検査方法は開発されていないため、検出菌株や食品中の毒素を検出することは困難である。

治療・予防

本食中毒患者に対しては、下痢や嘔吐に対する水分や栄養補給などの対症療法程度で、特別な治療は必要ないと考えられる。

セレウス菌は食品における汚染頻度が高く、さらに加熱調理後も生残している場合が多いことから、予防対策としては、食品中での菌増殖を押さえることが第一である。嘔吐型、下痢型いずれの場合も、食品中で原因菌が増えることが発生要因となる。したがって、調理から喫食までの時間と温度管理が最も重要な予防法である。

感染症法における取り扱い

感染性胃腸炎は4類感染症定点把握疾患であり、全国約3,000カ所の小児科定点から毎週報告がなされている。報告の基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下の2つの基準を満たすもの。

1. 急に発症する腹痛(新生児や乳児では不明) 嘔吐、下痢
2. 他の原因によるものの除外

上記の基準は必ずしも満たさないが、診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、病原体診断や血清学的診断によって当該疾患と診断されたもの。

食品衛生法での取り扱い

食中毒が疑われる場合は、24時間以内に最寄りの保健所に届け出る。

(東京都立衛生研究所微生物部 柳川義勢)



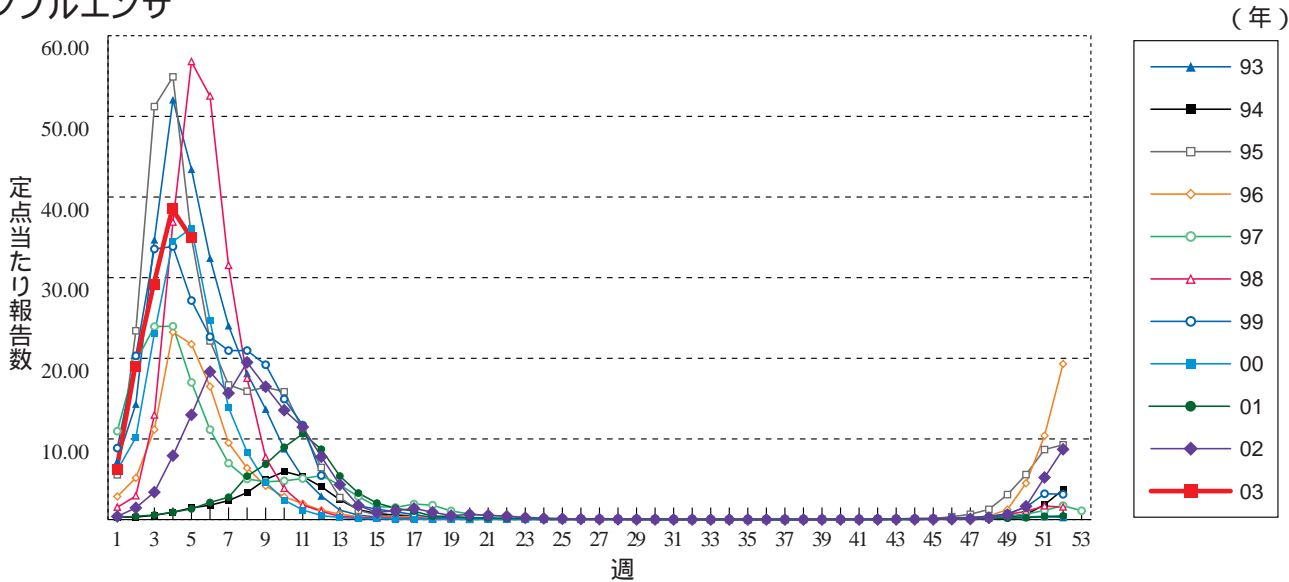
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

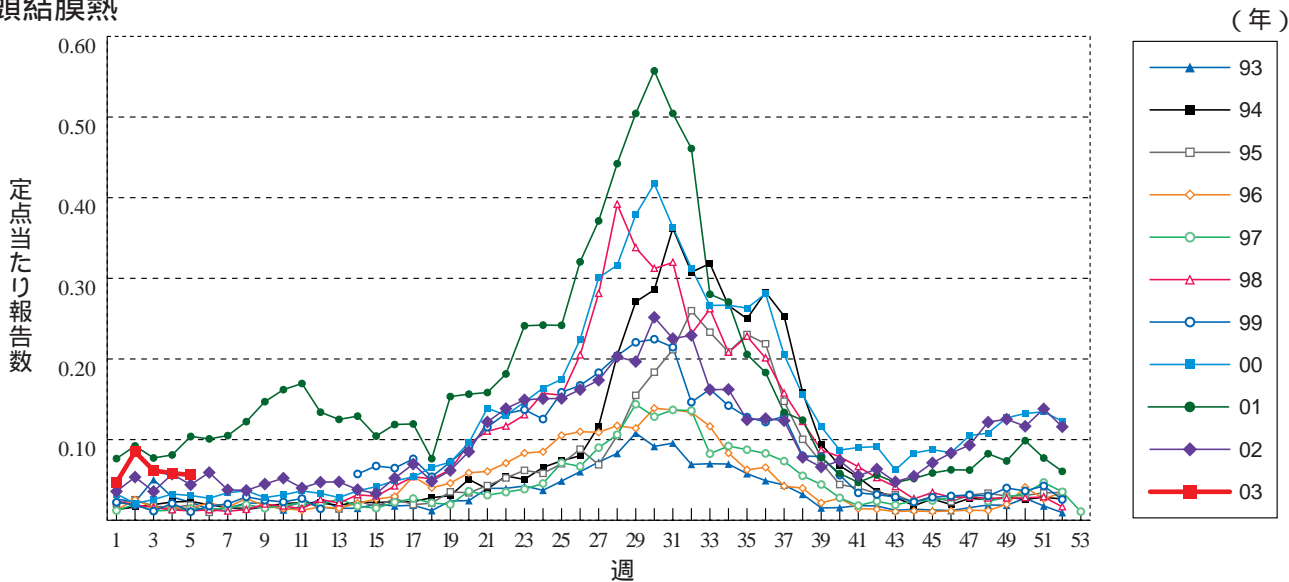
ids-c-query@nih.go.jp

グラフ総覧(5週)

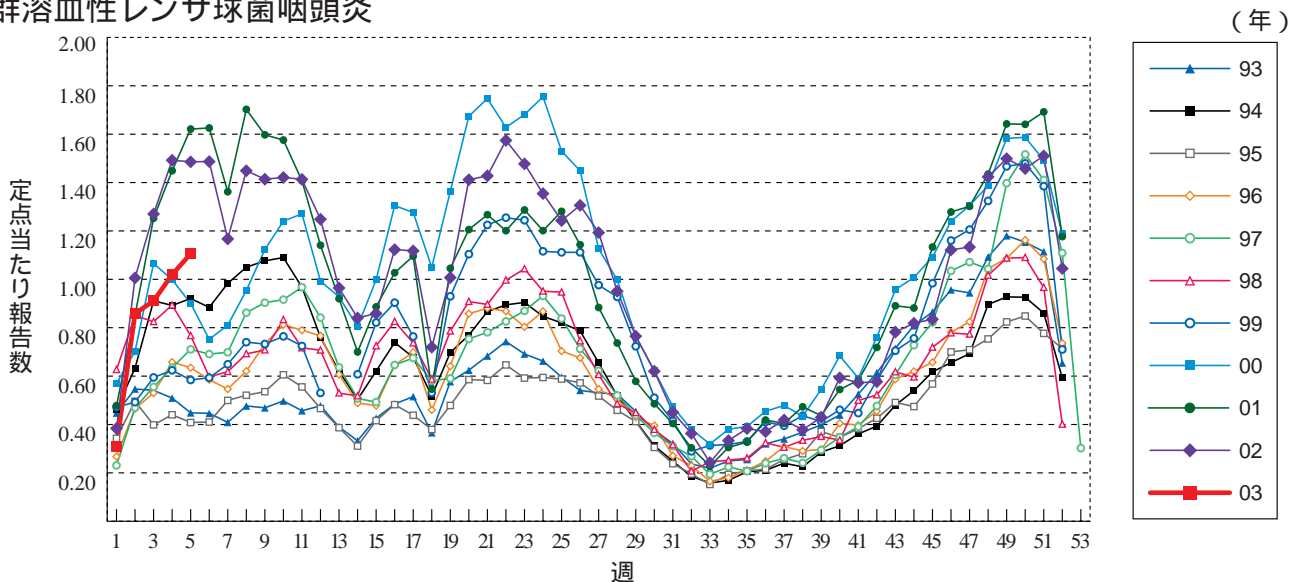
インフルエンザ



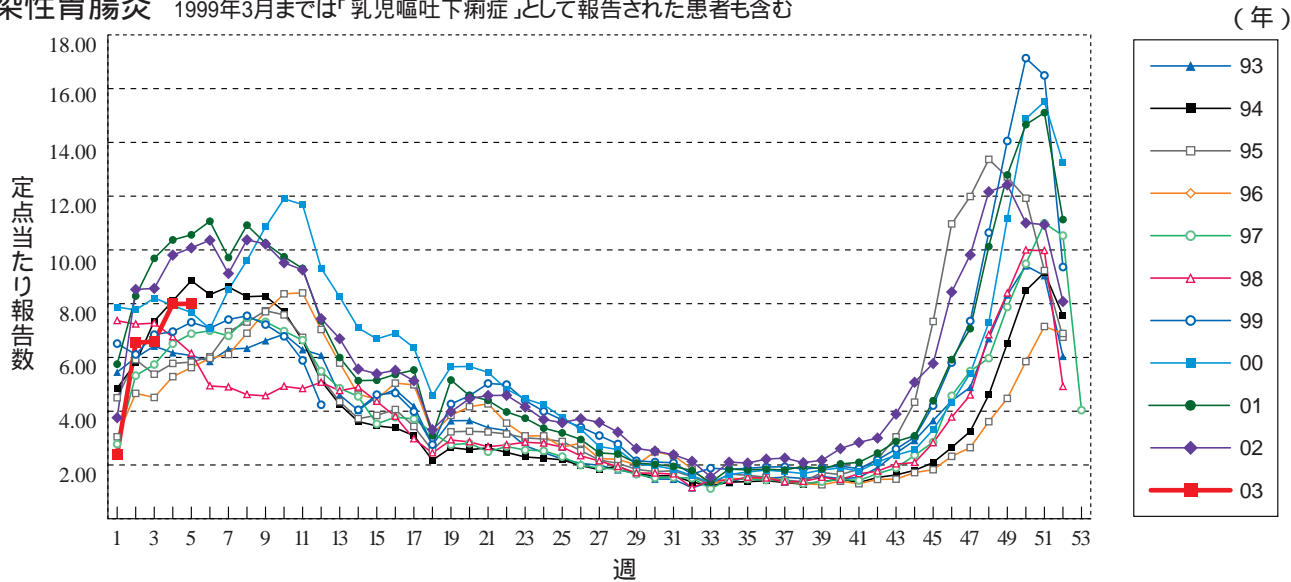
咽頭結膜熱



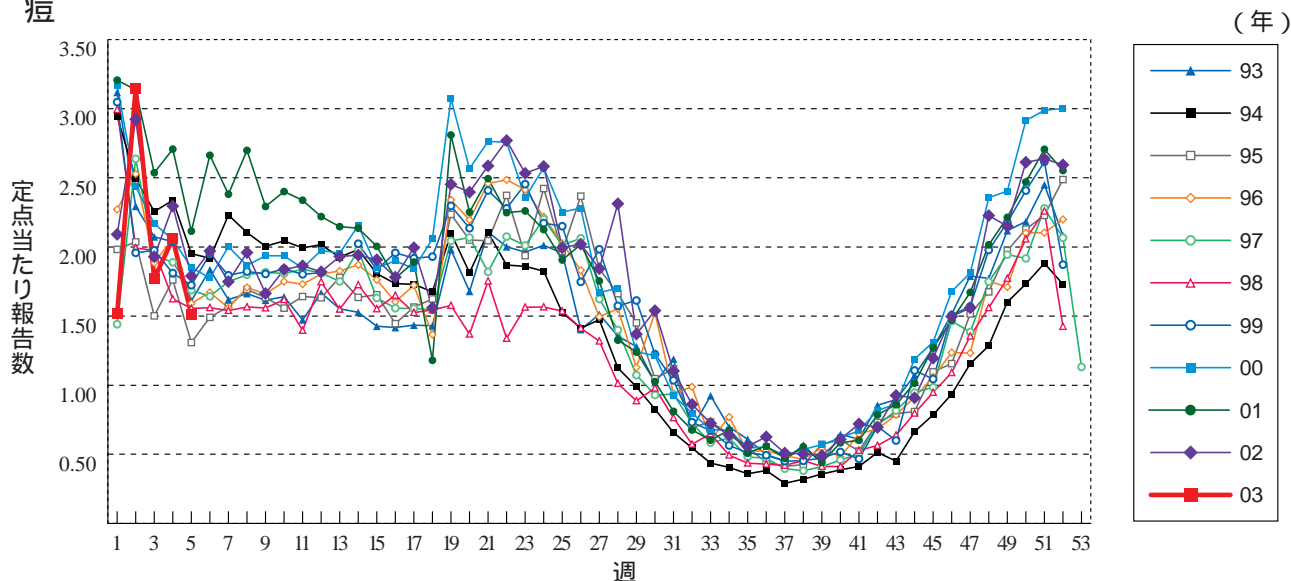
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



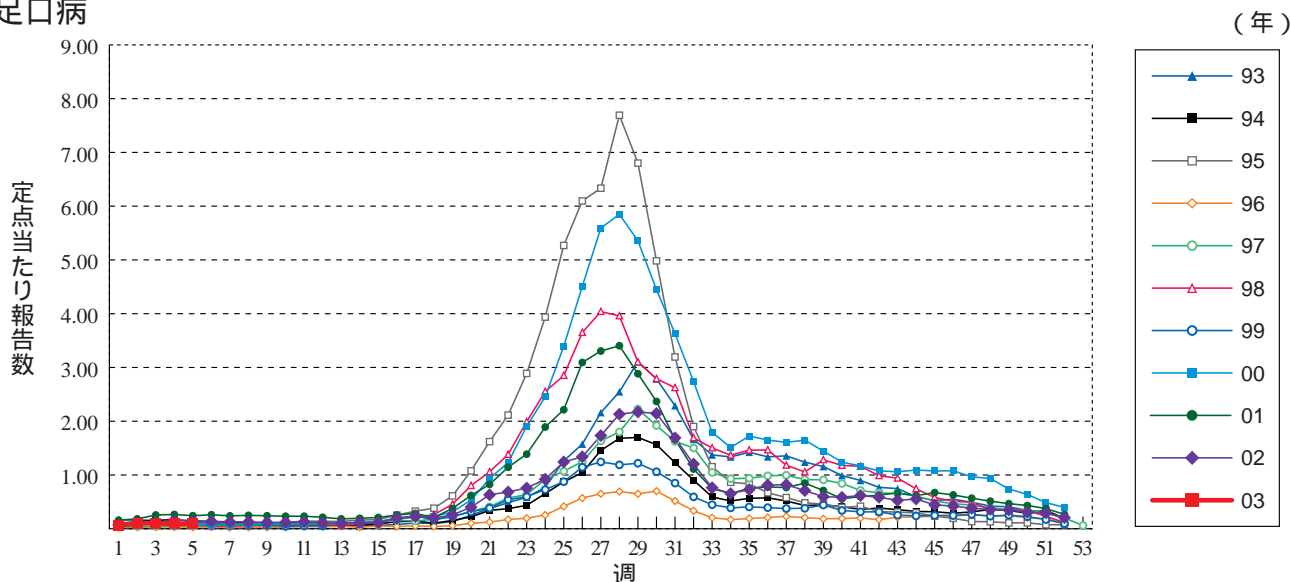
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



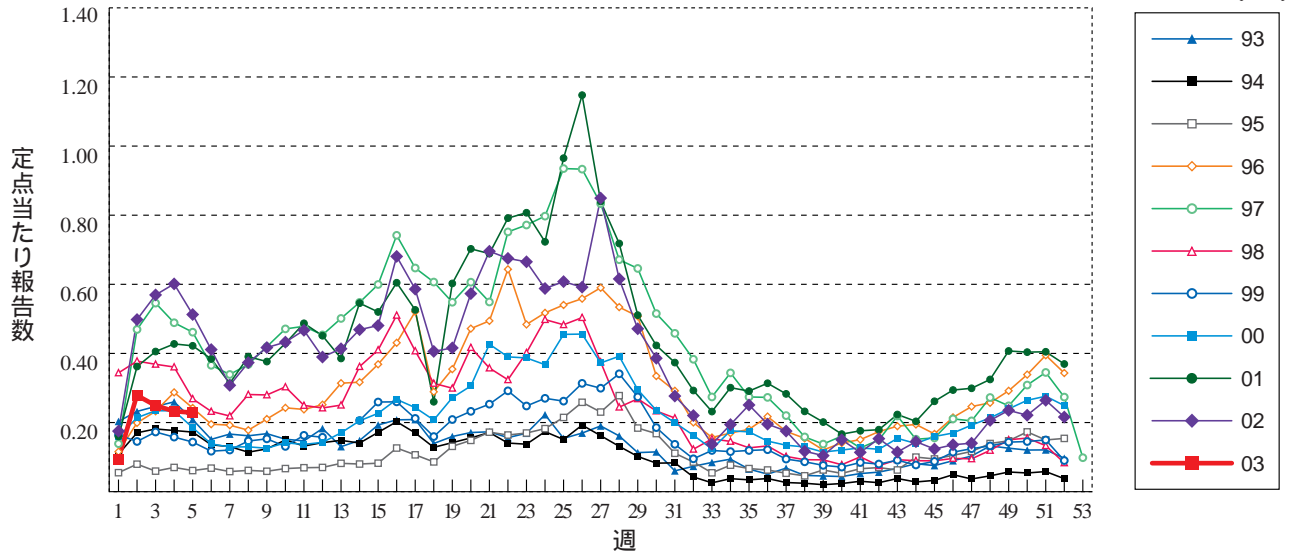
水痘



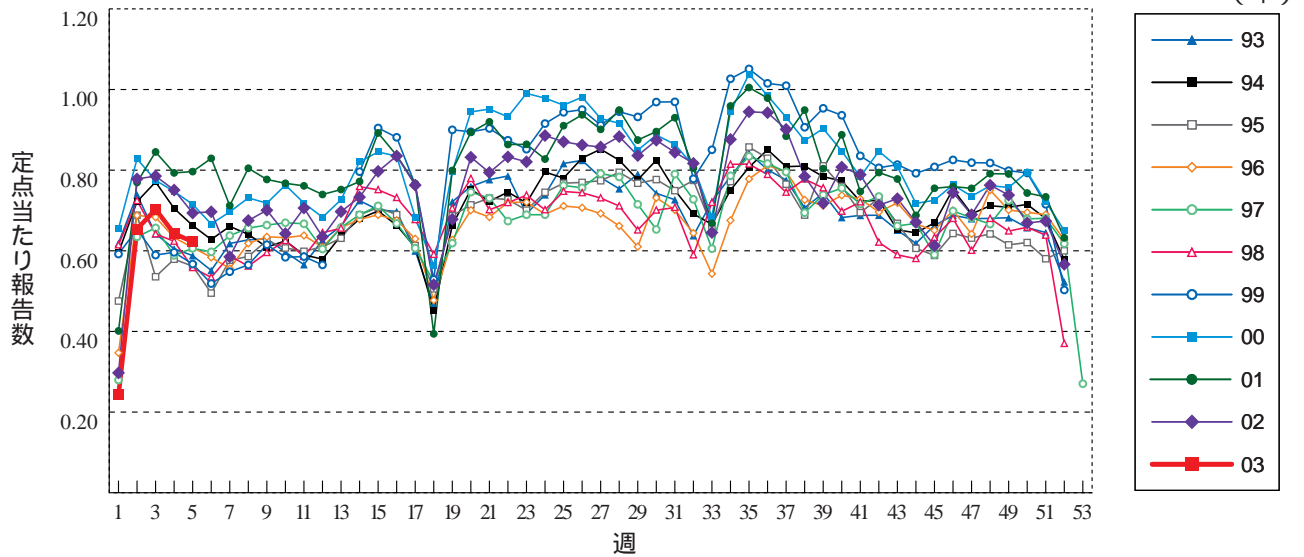
手足口病



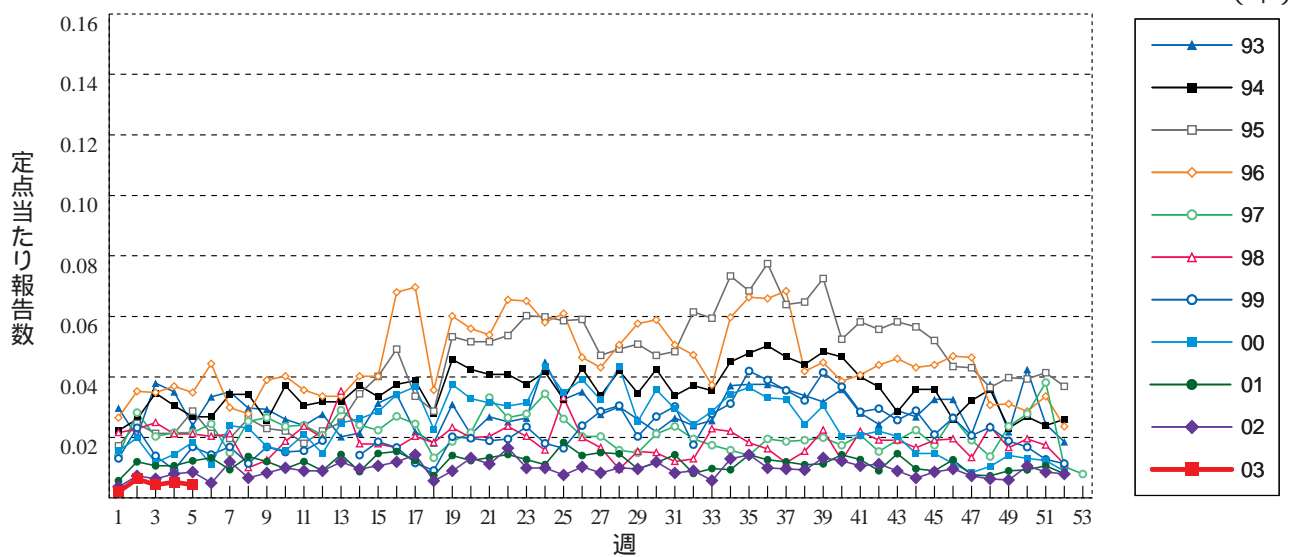
伝染性紅斑



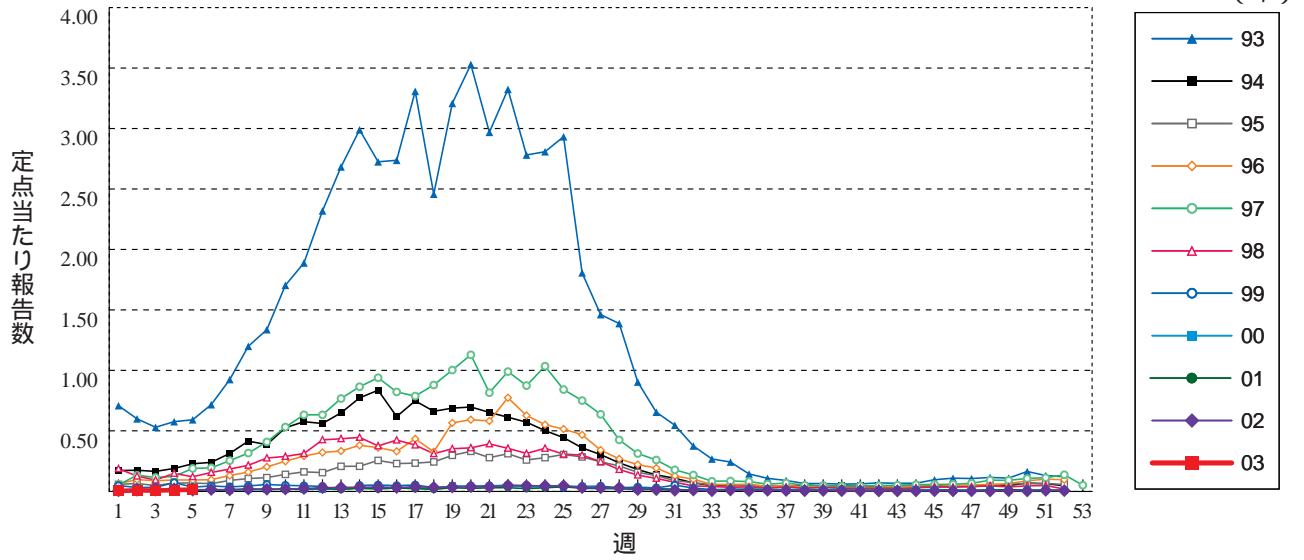
突発性発疹



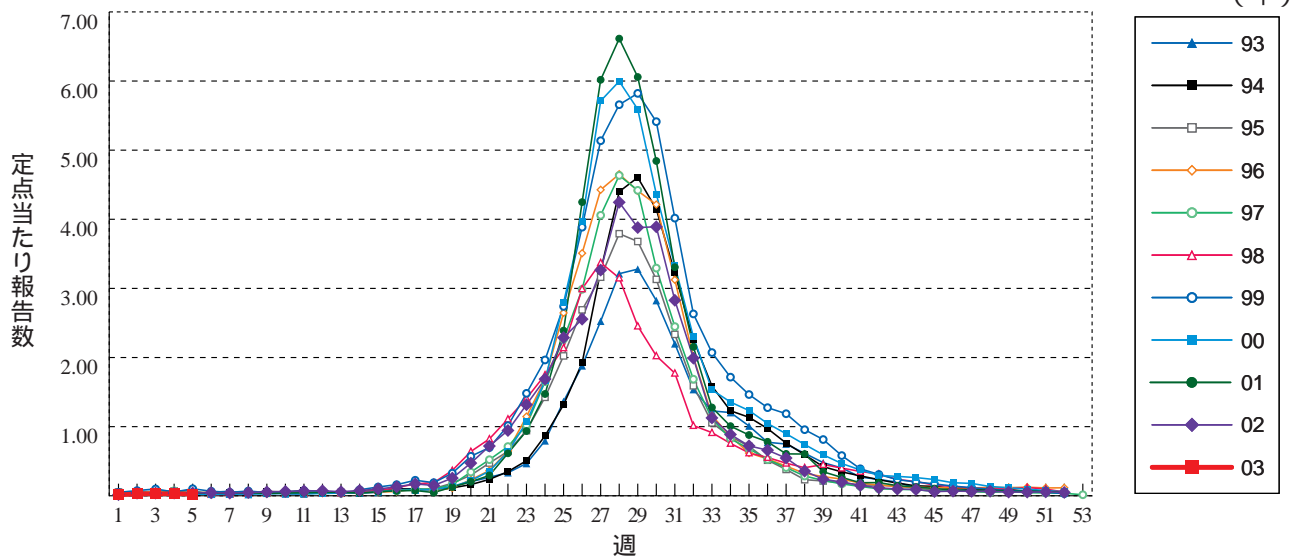
百日咳



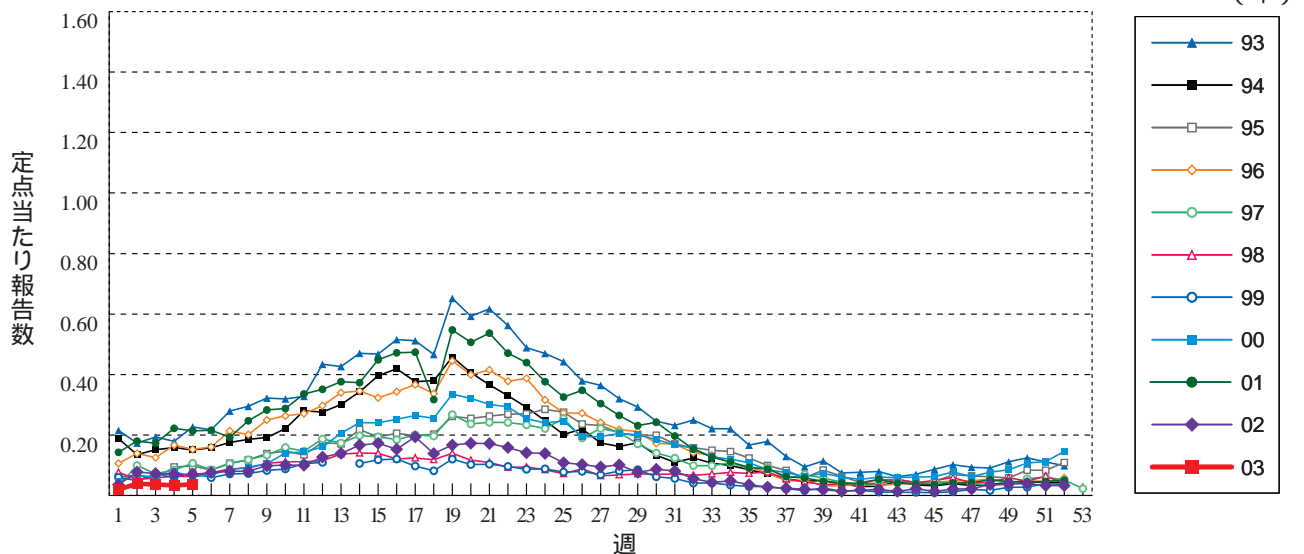
風 疹



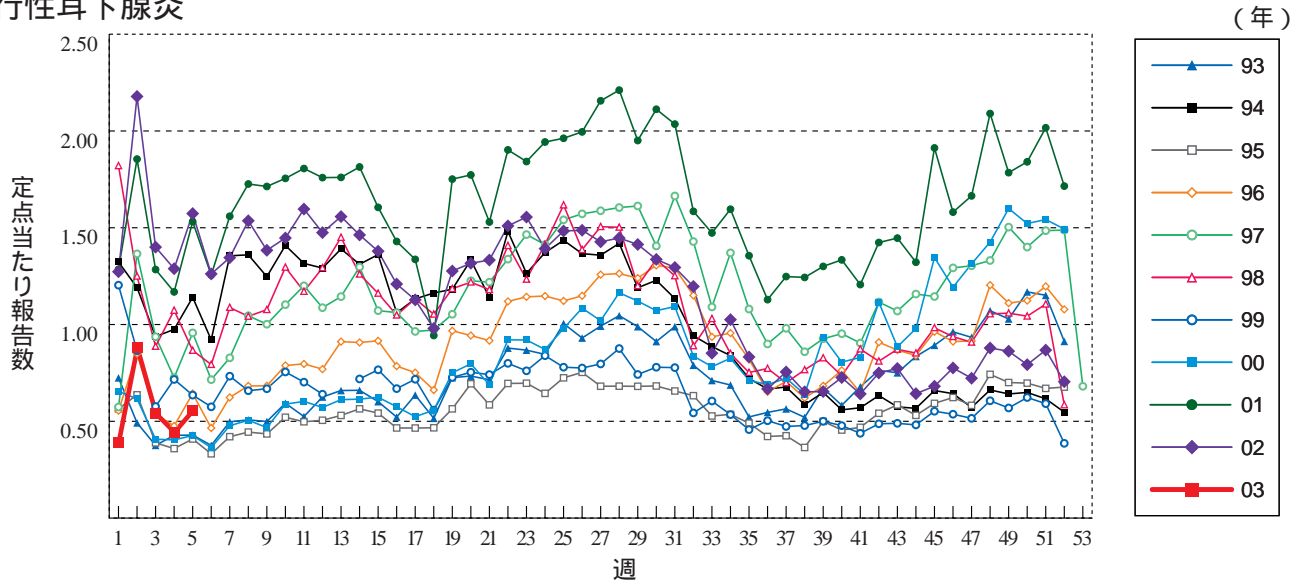
ヘルパンギーナ



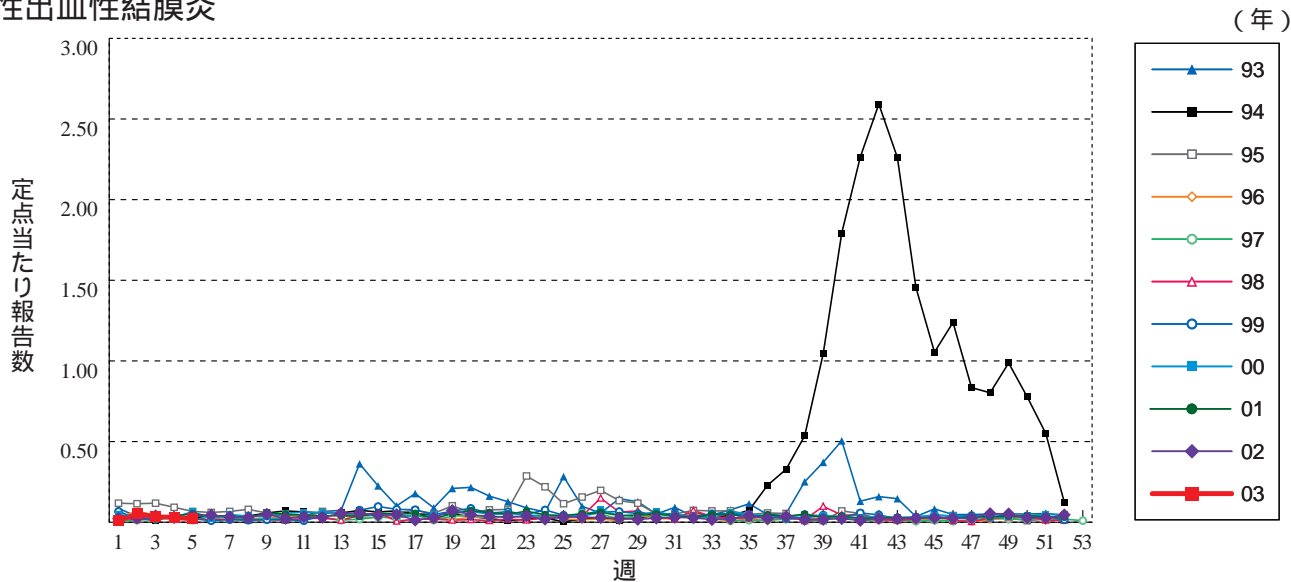
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



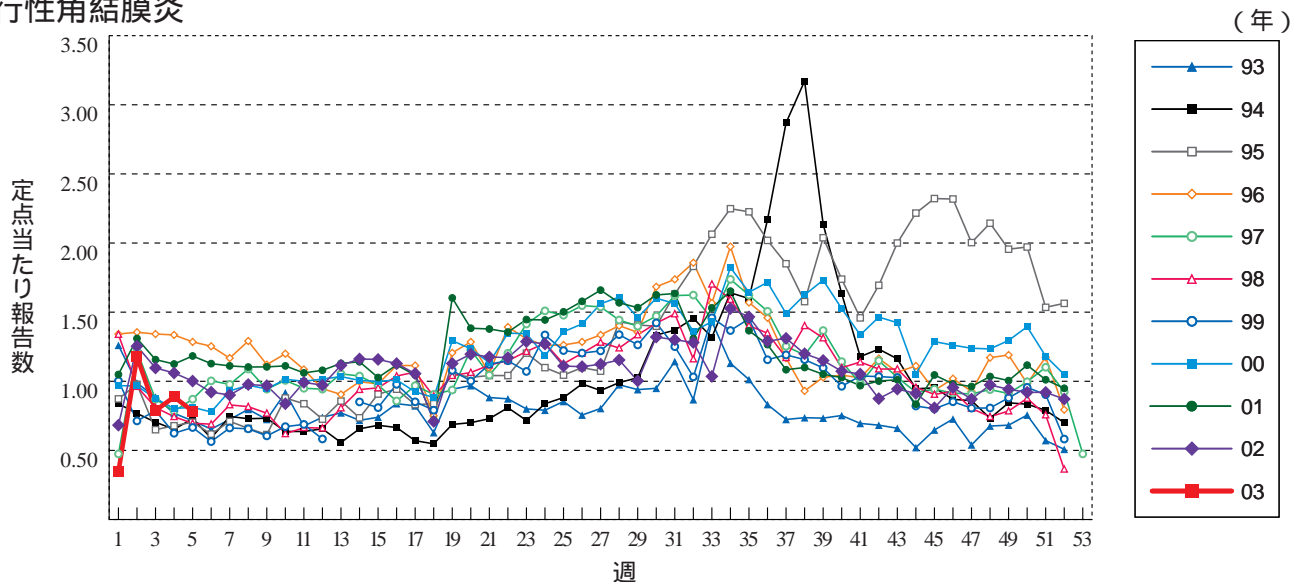
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

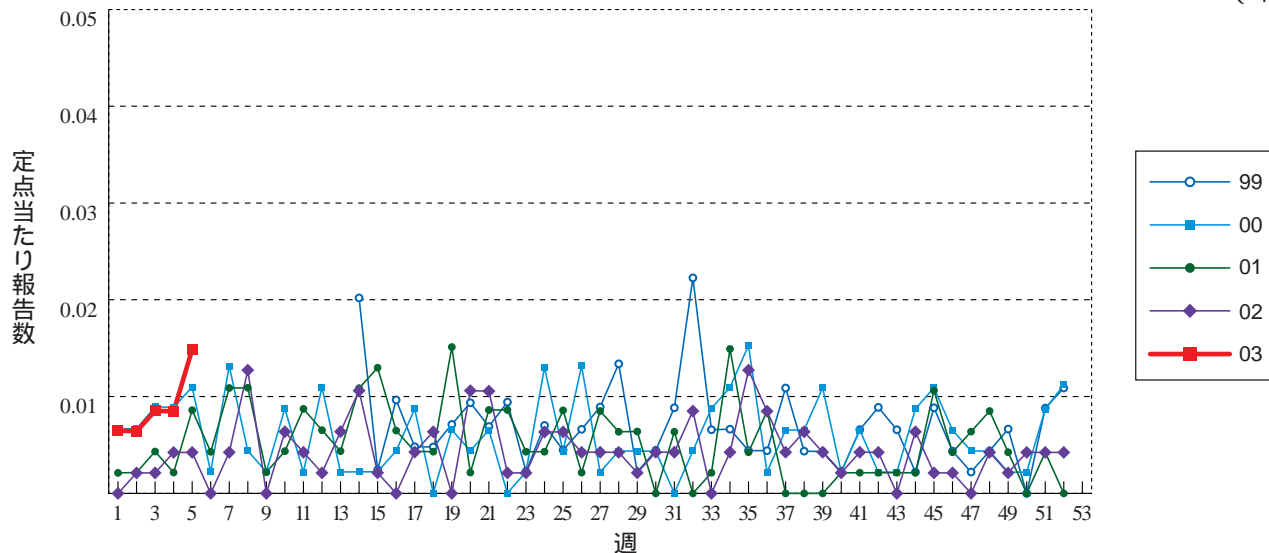


流行性角結膜炎



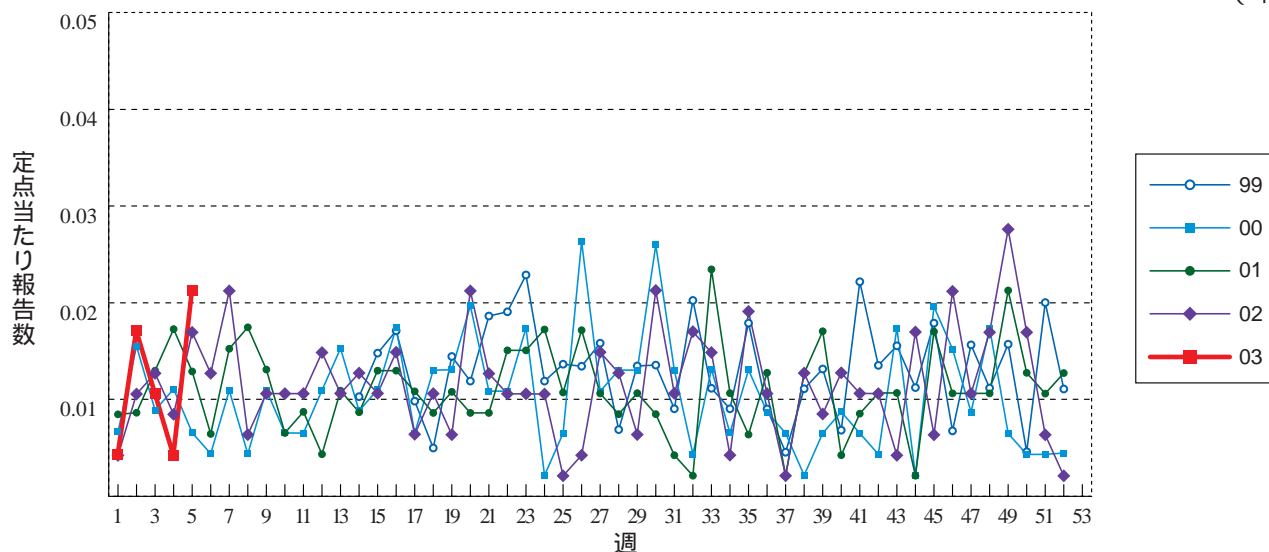
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



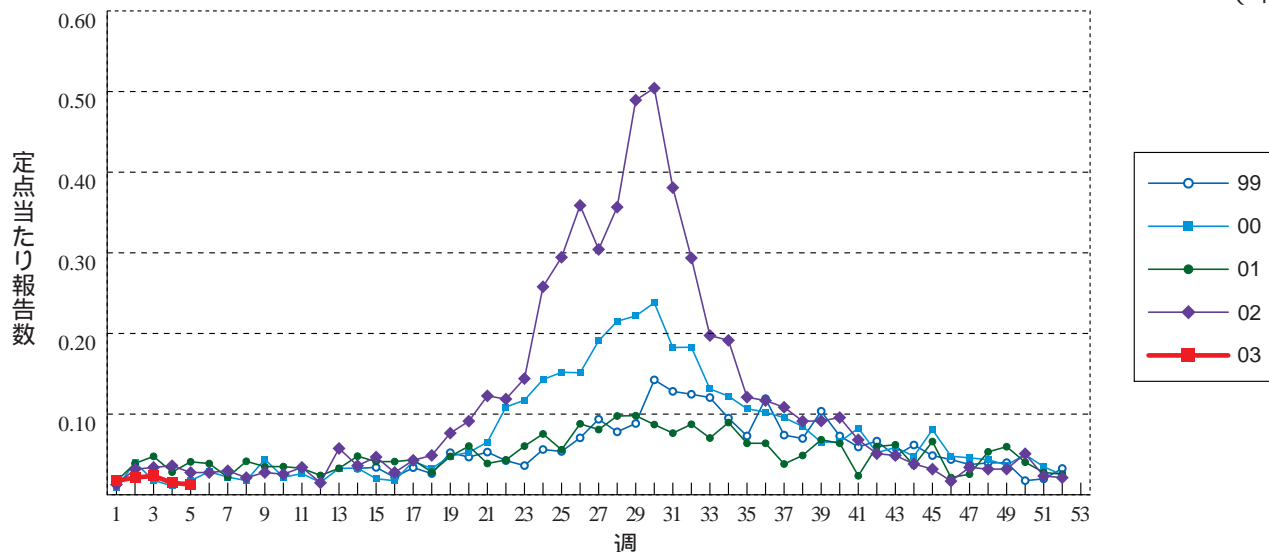
細菌性髄膜炎

(年)



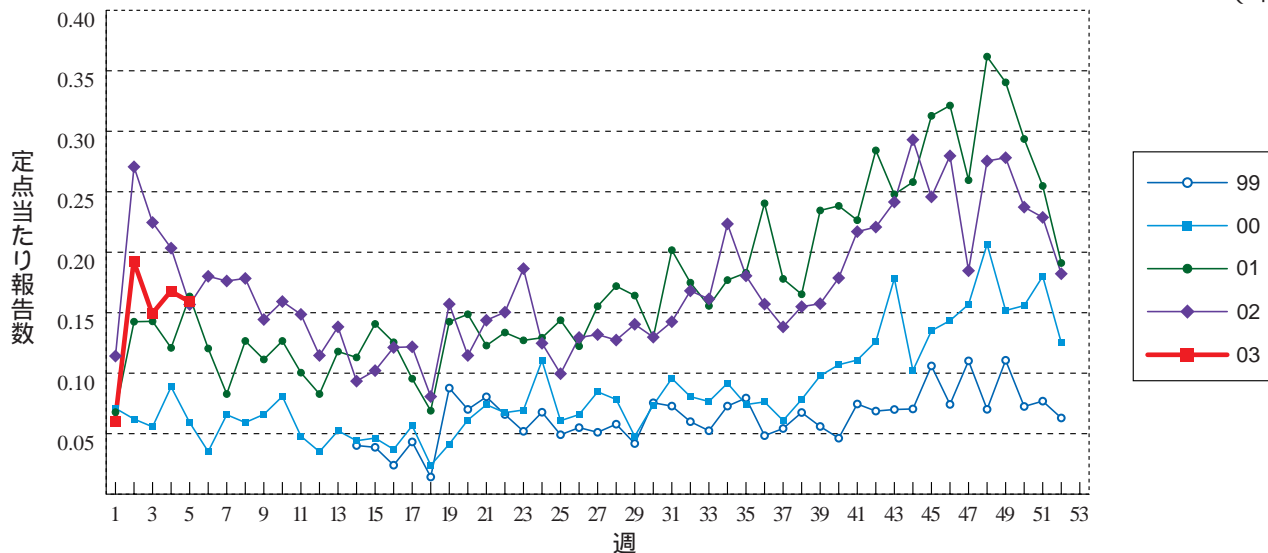
無菌性髄膜炎

(年)



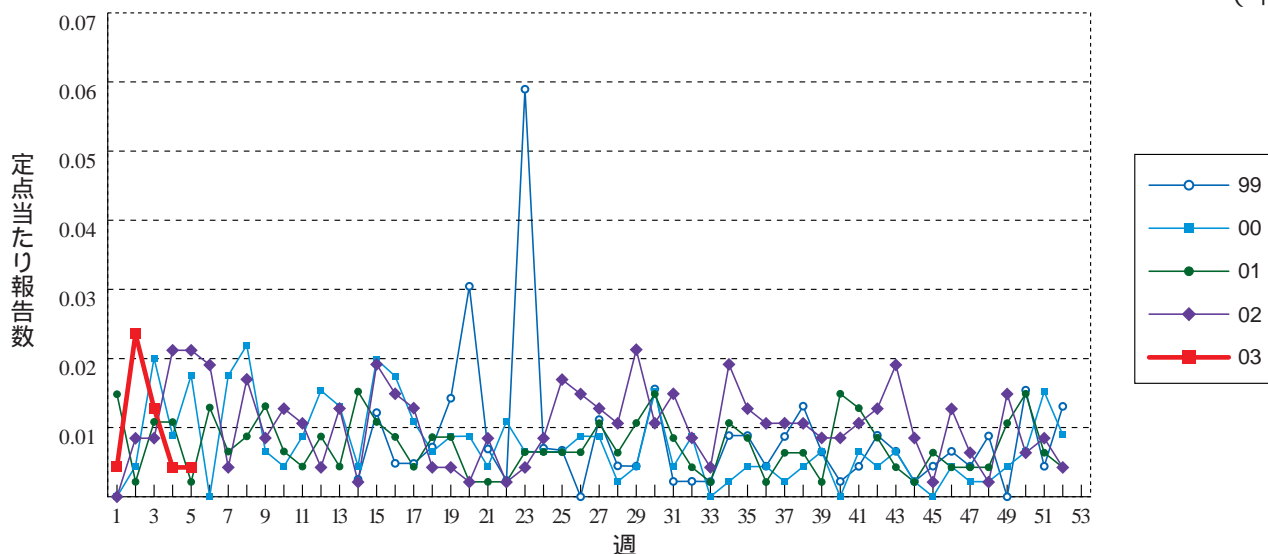
マイコプラズマ肺炎

(年)



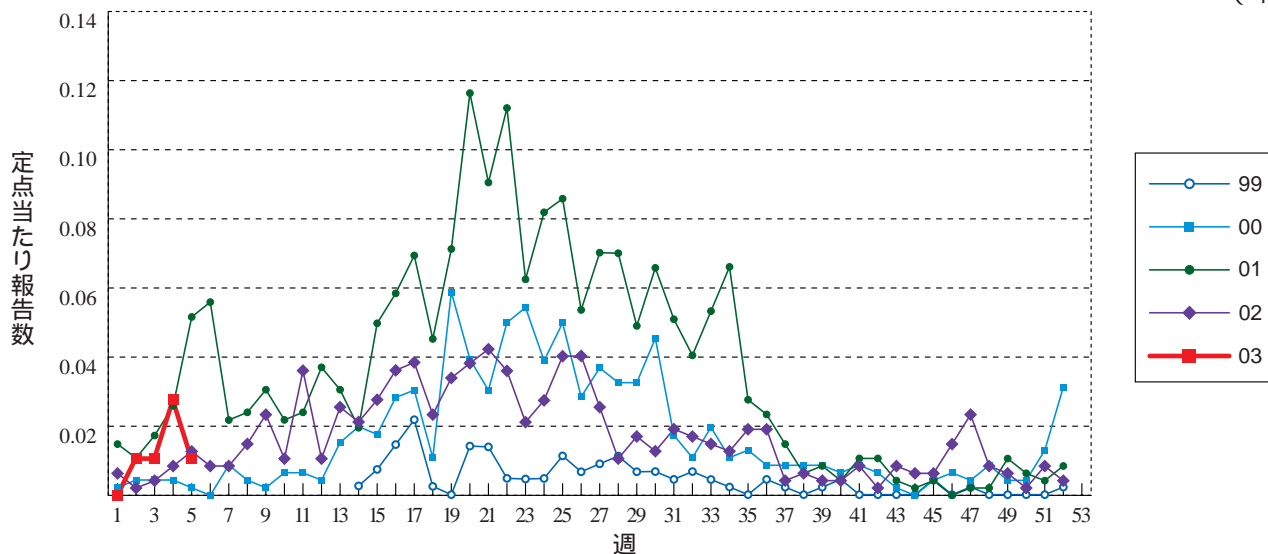
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





5週のデータ

注)表中の報告数は2月6日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年5週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	44	3	5	-	2		
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1	2	-	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年5週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	7	39	8	33	-	-	-	-	-	2	-	-	12	70
北海道	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山形県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	1	2	3	8	-	-	-	-	-	-	-	-	2	12
神奈川県	-	-	-	-	1	2	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	6
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	8
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福岡県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
佐賀県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年5週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	1	-	-	-	-	2	13	2	13	13	59	-	-	-	3	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	8	24	-	-	-	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年5週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	2	-	-	-	-	-	17	-	1	-	-	-	-	-	-	6	31
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年5週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	2	12
北海道	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	1	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年5週

	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年5週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	165560	35.02	171	0.06	3369	1.11	24340	7.99	4609	1.51	278	0.09	696	0.23	1896	0.62	13	0.00
北海道	6837	29.73	1	0.01	231	1.59	404	2.79	152	1.05	9	0.06	170	1.17	90	0.62	-	-
青森県	1521	23.40	-	-	43	1.02	238	5.67	88	2.10	2	0.05	7	0.17	32	0.76	-	-
岩手県	1693	27.31	-	-	21	0.55	185	4.87	38	1.00	1	0.03	36	0.95	19	0.50	-	-
宮城県	2352	25.85	2	0.03	85	1.44	861	14.59	107	1.81	16	0.27	19	0.32	51	0.86	-	-
秋田県	1478	26.87	22	0.63	40	1.14	211	6.03	68	1.94	-	-	4	0.11	18	0.51	-	-
山形県	1827	38.06	-	-	62	2.07	264	8.80	32	1.07	7	0.23	13	0.43	26	0.87	1	0.03
福島県	2876	35.95	-	-	45	0.94	508	10.58	39	0.81	-	-	11	0.23	37	0.77	2	0.04
茨城県	3667	31.08	3	0.04	67	0.91	479	6.47	82	1.11	2	0.03	9	0.12	27	0.36	-	-
栃木県	2587	36.96	-	-	27	0.59	366	7.96	42	0.91	1	0.02	6	0.13	35	0.76	-	-
群馬県	2967	29.67	3	0.05	78	1.26	532	8.58	60	0.97	10	0.16	15	0.24	33	0.53	-	-
埼玉県	11687	45.47	-	-	251	1.57	1653	10.33	183	1.14	5	0.03	15	0.09	102	0.64	-	-
千葉県	7738	37.75	4	0.03	233	1.83	1298	10.22	138	1.09	12	0.09	16	0.13	84	0.66	-	-
東京都	5004	28.11	11	0.08	78	0.55	918	6.46	110	0.77	3	0.02	19	0.13	60	0.42	-	-
神奈川県	13203	39.06	28	0.14	213	1.03	1552	7.50	295	1.43	5	0.02	31	0.15	165	0.80	-	-
新潟県	4566	46.12	12	0.20	115	1.92	534	8.90	105	1.75	20	0.33	49	0.82	45	0.75	-	-
富山県	2009	41.85	-	-	84	2.90	229	7.90	31	1.07	18	0.62	19	0.66	18	0.62	-	-
石川県	2704	56.33	2	0.07	41	1.41	242	8.34	53	1.83	-	-	2	0.07	17	0.59	-	-
福井県	1772	55.38	2	0.09	63	2.86	243	11.05	31	1.41	4	0.18	7	0.32	20	0.91	-	-
山梨県	1778	43.37	-	-	18	0.72	105	4.20	19	0.76	2	0.08	1	0.04	5	0.20	-	-
長野県	3814	43.84	1	0.02	83	1.51	358	6.51	119	2.16	2	0.04	27	0.49	38	0.69	-	-
岐阜県	2827	33.65	-	-	30	0.57	189	3.57	63	1.19	9	0.17	15	0.28	33	0.62	2	0.04
静岡県	8045	58.72	2	0.02	66	0.77	754	8.77	180	2.09	8	0.09	17	0.20	42	0.49	-	-
愛知県	8659	45.34	7	0.04	164	0.90	953	5.24	294	1.62	9	0.05	30	0.16	104	0.57	-	-
三重県	3148	43.12	-	-	59	1.31	644	14.31	77	1.71	5	0.11	15	0.33	42	0.93	-	-
滋賀県	1944	36.68	-	-	15	0.47	130	4.06	27	0.84	-	-	3	0.09	14	0.44	-	-
京都府	3067	24.34	-	-	46	0.61	662	8.71	55	0.72	5	0.07	3	0.04	31	0.41	1	0.01
大阪府	5533	18.20	13	0.07	136	0.70	1037	5.32	275	1.41	6	0.03	11	0.06	95	0.49	1	0.01
兵庫県	5133	25.92	15	0.12	108	0.84	1052	8.22	189	1.48	8	0.06	27	0.21	86	0.67	-	-
奈良県	1754	31.89	-	-	15	0.43	244	6.97	31	0.89	1	0.03	9	0.26	13	0.37	-	-
和歌山県	2145	42.90	1	0.03	14	0.45	166	5.35	80	2.58	-	-	3	0.10	19	0.61	-	-
鳥取県	948	32.69	-	-	24	1.26	163	8.58	23	1.21	-	-	13	0.68	13	0.68	-	-
島根県	1542	40.58	2	0.09	5	0.22	111	4.83	35	1.52	-	-	1	0.04	15	0.65	1	0.04
岡山県	2278	27.12	-	-	33	0.61	280	5.19	72	1.33	1	0.02	2	0.04	20	0.37	2	0.04
広島県	2124	17.85	6	0.08	71	0.95	727	9.69	120	1.60	10	0.13	9	0.12	48	0.64	-	-
山口県	2394	34.20	-	-	77	1.57	472	9.63	92	1.88	13	0.27	8	0.16	38	0.78	-	-
徳島県	1452	38.21	1	0.04	30	1.30	99	4.30	39	1.70	-	-	4	0.17	15	0.65	-	-
香川県	2048	40.16	1	0.03	26	0.81	243	7.59	42	1.31	1	0.03	3	0.09	15	0.47	-	-
愛媛県	2672	41.75	2	0.05	68	1.74	421	10.79	74	1.90	8	0.21	6	0.15	32	0.82	-	-
高知県	1908	38.94	1	0.03	43	1.39	146	4.71	65	2.10	2	0.06	4	0.13	9	0.29	-	-
福岡県	4074	20.58	9	0.08	193	1.61	1817	15.14	278	2.32	16	0.13	13	0.11	92	0.77	1	0.01
佐賀県	894	22.92	2	0.09	36	1.57	230	10.00	71	3.09	10	0.43	4	0.17	17	0.74	-	-
長崎県	2712	38.74	-	-	41	0.93	324	7.36	74	1.68	8	0.18	1	0.02	19	0.43	-	-
熊本県	2393	29.54	5	0.10	66	1.35	698	14.24	104	2.12	2	0.04	4	0.08	45	0.92	-	-
大分県	2113	36.43	-	-	44	1.22	475	13.19	68	1.89	5	0.14	2	0.06	46	1.28	-	-
宮崎県	3484	58.07	10	0.27	47	1.27	552	14.92	100	2.70	14	0.38	6	0.16	29	0.78	-	-
鹿児島県	4581	46.74	3	0.05	34	0.57	542	9.03	126	2.10	13	0.22	3	0.05	32	0.53	-	-
沖縄県	3608	62.21	-	-	-	-	29	0.85	163	4.79	5	0.15	4	0.12	10	0.29	2	0.06

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年5週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	45	0.01	77	0.03	112	0.04	1691	0.56	13	0.02	500	0.78	7	0.01	10	0.02	6	0.01
北海道	-	-	1	0.01	4	0.03	83	0.57	-	-	18	0.62	-	-	-	-	-	-
青森県	3	0.07	-	-	5	0.12	44	1.05	-	-	9	0.82	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	60	1.58	-	-	10	0.83	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	0.02	3	0.05	2	0.03	66	1.12	1	0.09	3	0.27	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	1	0.03	1	0.03	39	1.11	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	16	0.53	-	-	4	0.50	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	1	0.02	14	0.29	48	1.00	-	-	5	0.42	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	-	-	8	0.11	23	0.31	-	-	36	2.25	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	0.02	7	0.15	32	0.70	-	-	14	1.17	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	64	1.03	-	-	28	2.00	-	-	1	0.10	-	-
埼玉県	-	-	3	0.02	13	0.08	43	0.27	-	-	11	0.31	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	3	0.02	-	-	16	0.13	45	0.35	-	-	32	0.94	-	-	2	0.15	1	0.08
東京都	1	0.01	4	0.03	13	0.09	31	0.22	-	-	11	0.79	-	-	2	0.08	-	-
神奈川県	-	-	1	0.00	6	0.03	59	0.29	1	0.02	40	0.95	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	58	0.97	-	-	2	0.22	1	0.08	-	-	-	-
富山県	1	0.03	1	0.03	-	-	9	0.31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	0.03	-	-	16	0.55	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	5	0.23	-	-	5	0.23	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.04	-	-	-	-	7	0.28	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	18	0.33	-	-	6	0.55	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	1	0.02	-	-	36	0.68	-	-	4	0.33	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.02	4	0.05	-	-	40	0.47	-	-	2	0.10	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.01	1	0.01	1	0.01	84	0.46	-	-	24	0.69	-	-	-	-	-	-
三重県	1	0.02	1	0.02	-	-	16	0.36	-	-	2	0.17	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	1	0.03	-	-	-	-	21	0.66	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	1	0.01	-	-	22	0.29	-	-	11	0.52	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	14	0.07	-	-	54	0.28	2	0.04	30	0.61	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	0.01	1	0.01	-	-	141	1.10	1	0.03	27	0.77	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	-	-	20	0.57	-	-	6	0.67	-	-	-	-	-	-
和歌山県	2	0.06	-	-	1	0.03	20	0.65	-	-	3	0.75	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	-	-	1	0.05	27	1.42	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	9	0.39	-	-	1	0.33	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	16	0.30	-	-	-	-	32	0.59	-	-	4	0.33	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	1	0.01	-	-	34	0.45	1	0.05	19	0.95	1	0.05	-	-	1	0.05
山口県	-	-	3	0.06	-	-	29	0.59	-	-	14	1.56	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	1	0.04	6	0.26	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	4	0.13	1	0.33	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	3	0.08	2	0.05	12	0.31	1	0.14	11	1.57	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.03	2	0.06	-	-	49	1.58	-	-	2	0.67	-	-	1	0.13	-	-
福岡県	3	0.03	8	0.07	3	0.03	76	0.63	1	0.04	44	1.69	-	-	1	0.07	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	9	0.39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	2	0.05	-	-	60	1.36	3	0.38	12	1.50	-	-	-	-	2	0.18
熊本県	1	0.02	6	0.12	-	-	3	0.06	1	0.11	15	1.67	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	3	0.08	-	-	33	0.92	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.03	1	0.03	13	0.35	39	1.05	-	-	6	1.50	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	2	0.03	2	0.03	-	-	44	0.73	-	-	10	1.67	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1	0.03	5	0.15	-	-	8	0.80	4	0.57	2	0.29	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成15年5週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	75	0.16	2	0.00	5	0.01
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	2	0.33	-	-	-	-
岩手県	2	0.10	-	-	-	-
宮城県	5	0.42	-	-	-	-
秋田県	4	0.50	-	-	-	-
山形県	4	0.40	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.14	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.11	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-
東京都	2	0.08	-	-	5	0.20
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	15	1.25	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	10	1.00	-	-	-	-
長野県	-	-	1	0.09	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	4	0.27	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	3	0.60	-	-	-	-
広島県	2	0.10	-	-	-	-
山口県	1	0.13	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	2	0.33	-	-	-	-
高知県	4	0.50	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	5	0.45	-	-	-	-
熊本県	2	0.13	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	3	0.43	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	1	0.14	-	-

感染症週報 第5巻、第5号 平成15年2月17日発行
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

http://www.mhlw.go.jp/

<厚生労働省>

http://www.forth.go.jp/

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。